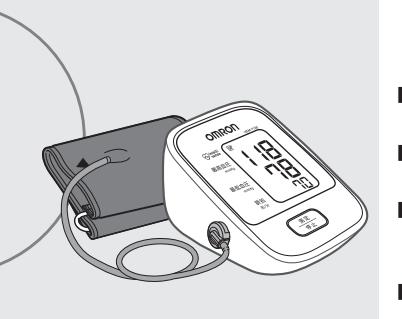


# 取扱説明書

## HEM-7120 オムロン 上腕式血圧計



All for Healthcare

OMRON

このたびは、オムロン製品をお買  
い上げいただきありがとうございます。

■本製品の使用目的は、健康管理  
のために、収縮期（最高）血圧  
および拡張期（最低）血圧を測  
定することです。

■安全にお使いいただくため、取  
扱説明書を必ずお読みください。

■本書は、いつもお手元において  
ご使用ください。

■本書は品質保証書を兼ねています。  
紛失しないように保管してく  
ださい。

■本書に記載しているイラストは  
イメージ図です。

1887365-0G

## 1. 入っていますか？

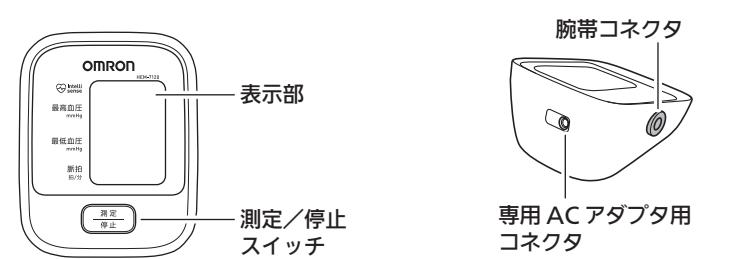
箱の中には次のものが入っています。  
不足のものがありましたら、オムロンお客様サービスセンター  
([TEL 0120-30-6606](#))までご連絡ください。

- ① 本体
- ② 腕帯（型式 HEM-CR24）
- ③ お試し用電池（単3形アルカリ乾電池4個）
- ④ 取扱説明書（本書：品質保証書付き）
- ⑤ 医療機器添付文書
- ⑥ EMC技術資料

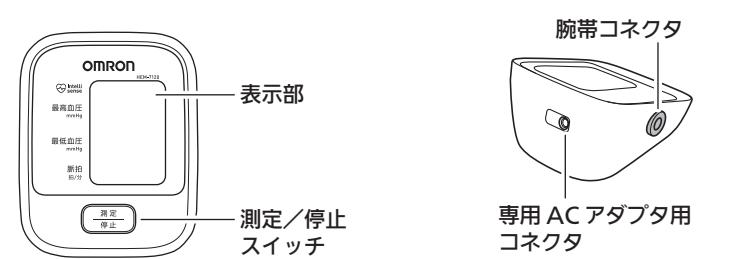
## 2. 各部の名前

### 本体

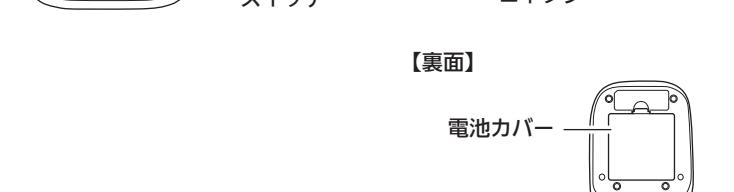
【前面】



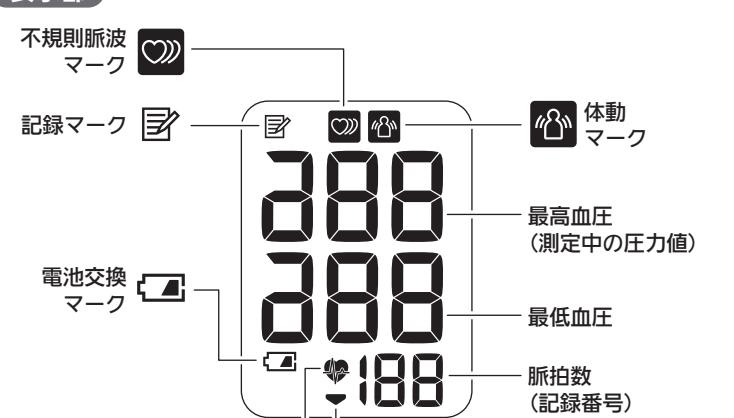
【側面／背面】



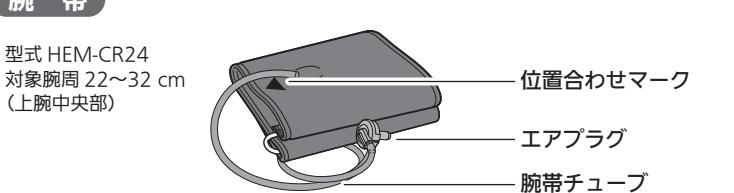
【裏面】



### 表示部



### 腕帯



・腕帯は消耗品です。  
・血圧を正確に測るために、1年に1回の交換をおおすすめします。  
・空気漏れが生じたら、別売品をお買い求めください。

[\(イ\)「15. 別売品」](#)

## 3. 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。  
ここに示した内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危  
害、財産への損害を未然に防止するためのものです。

■警告、注意について

△警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定さ  
れます。

△注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う、または物的損害\*の発  
生が想定されます。

\*物的損害とは、家屋や家財、および家畜やペットに関わる拡大損害を示します。

■安全にお使いいただくため、取  
扱説明書を必ずお読みください。

■本書は、いつもお手元において  
ご使用ください。

■本書は品質保証書を兼ねています。  
紛失しないように保管してく  
ださい。

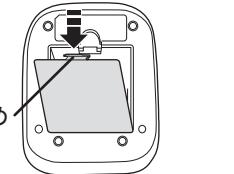
■本書に記載しているイラストは  
イメージ図です。

1887365-0G

## 4. 準備をする

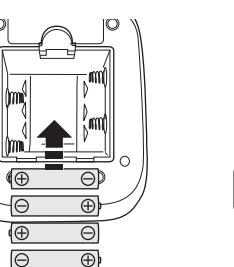
### 1 本体裏面の電池カバーを外す

つめを押して持ち上げます。



### 2 電池を入れる

ばねの出ている方が(-)です。



#### △警告

一般的なことについて

・けがや治療中の腕で測らない。  
・点滴、輸血をしている腕で測らない。  
▶症状の悪化につながることがあります。

・可燃性ガスや高濃度酸素環境下など火災や爆発の恐れがある場所で使わない。  
▶火災や爆発の原因となります。

・乳幼児などの手の届くところに保管しない。  
▶エアプラグや電池など小さい部品を飲み込んだり、腕帯チューブや電源コードなどで首が絡またりし、窒息や傷害に至ることがあります。

#### △注意

一般的なことについて

・測定結果の自己判断をしない。  
・治療を自己判断で行わない。  
・耐熱期間を超えて使わない。

・医療機関や公共の場所において不特定多数で使わない。  
・乳幼児など自分で意思表示できない人に使わない。  
▶症状の悪化や傷害の発生、誤動作の原因になります。

次にいずれかの場合は、医師の指導のもとでご使用ください。

・使用時に皮膚炎など肌の異常を感じる場合  
・進行障害が長く発生する場合

・透析中や動脈瘤がある場合  
・重度の血行障害や血液疾患がある場合

▶傷害を負う原因になります。

次にいずれかの状態や症状をお持ちの場合は、医師の指導のもとでご使用ください。  
一般的な不整脈（心房性、心室性早期収縮、心房細動など）

・動脈硬化症・糖尿病・腎臓疾患・かん流低下

・妊娠中や子宮前症（妊娠中毒症）  
・未成年の方

▶正しく測定できないことがあります。

・異常の発生を感じたとき、腕帯を腕につけたままにしない。  
・腕帯や腕帯チューブに折りじわが付いたまま測らない。

・腕帯チューブのねじれやもつれがある状態で測らない。

・必要以上の頻度で測らない。

・必要以上に加圧しない。

・傷害を負う原因になります。

・指先の腕帯やエアプラグを使わない。

・エアプラグを抜くときにエアプラグを持たずに腕帯チューブを引っ張らない。

・本体や腕帯などを分解したり、改造したりしない。

・本体の故障や破損、傷害を負う原因になります。あるいは、正しく測定できないことがあります。

・測定中に血圧計の近くで携帯電話やスマートフォンを使わない。

・電気メスなど電気手術器やMRI、CTスキャナーなど他の医療機器がある場所で使わない。

・乗物内で使わない。

・血圧測定以外の目的で使わない。

▶危険や誤動作の原因になります。

・測定中に体を動かさない。

・寒さなどで体が震えるときに測らない。

・対象腕周囲で使わない。

・腕帯の巻き方や測定姿勢を不適切にしない。

・指先外の場所や条件で保管したり、使ったりしない。

・使用するところと保管場所に温度差があるときは、すぐに測らない。

・正しく測定できないことがあります。

・測定中に体を動かさない。

・寒さなどで体が震えるときに測らない。

・対象腕周囲で使わない。

・腕帯の巻き方や測定姿勢を不適切にしない。

・指先外の場所や条件で保管したり、使ったりしない。

・使用するところと保管場所に温度差があるときは、すぐに測らない。

・正しく測定できないことがあります。

・指先の腕帯やエアプラグを使わない。

・エアプラグを抜くときにエアプラグを持たずに腕帯チューブを引っ張らない。

・本体や腕帯などを分解したり、改造したりしない。

・本体の故障や破損、傷害を負う原因になります。あるいは、正しく測定できないことがあります。

・測定中に血圧計の近くで携帯電話やスマートフォンを使わない。

・電気メスなど電気手術器やMRI、CTスキャナーなど他の医療機器がある場所で使わない。

・乗物内で使わない。

・血圧測定以外の目的で使わない。

▶危険や誤動作の原因になります。

・手動加圧では、299 mmHgまで加圧することができますが、必要以上に加圧をしないでください。

・一時的に内出血が発生することがあります。

・300 mmHg以上加圧するとエラーになります。

ACアダプタ（別売）について

・コンセントや延長コードなど配線器具の定格を超えて使わない。

・コードやプラグが傷んだ状態で使わない。

・交流100V以外で使わない。

・指定外のACアダプタを使用しない。

・電源プラグを抜くときにACアダプタ本体を持たずに電源コードを引っ張らない。

・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

・電源プラグの差し込みが緩いままで使わない。

・はこりなどゴミやビンが付着したまま使わない。

・長時間使用しないとき、電源プラグを差し込んだままにしない。

・電源プラグを差し込んだまま、手入れを行わない。

・破損せない（電源コードを傷つけない、加工しない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、使用時に束ねない、重いものを載せない、挿み込まない）

▶火災や感電、本体故障の原因になります。

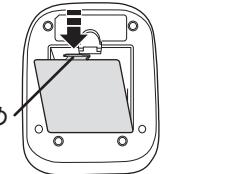
・電源プラグの抜き差しが困難な場所で使わない。

・異常発生時に電源の遮断が遅れ、事故や火災の原因になります。

## 4. 準備をする

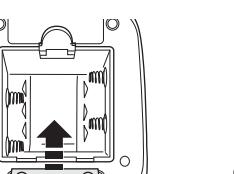
### 1 本体裏面の電池カバーを外す

つめを押して持ち上げます。



### 2 電池を入れる

ばねの出ている方が(-)です。



#### △警告

一般的なことについて

・けがや治療中の腕で測らない。  
・点滴、輸血をしている腕で測らない。  
▶症状の悪化につながることがあります。

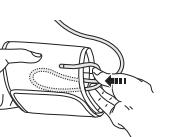
・可燃性ガスや高濃度酸素環境下など火災や爆発の恐れがある場所で使わない。  
▶火災や爆発の原因となります。

・乳幼児などの手の届くところに保管しない。  
▶エアプラグや電池など小さい部品を飲み込んだり、腕帯チューブや電源コードなどで首が絡またりし、窒息や傷害に至ることがあります。

・乳

## 11. かたづける

### 1 エアプラグを腕帯コネクタから抜く



腕帯チューブを無理に折り曲げないでください。  
正しく測れなくなります。

#### ■保管時のお願い

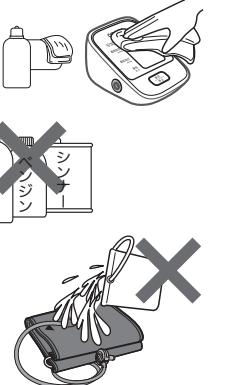
ご使用になるところと保管場所に温度差がある場合は、使用前にしばらく置いてからお使いください。

次のようなところに保管しないでください。

- ・水のかかるところ。
- ・高温・多湿、直射日光、ほこり、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- ・傾斜、振動、衝撃のあるところ。
- ・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

#### ■お手入れ時のお願い

- ・血圧計はいつも清潔にしてください。
- ・本体や腕帯の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- ・本体や腕帯の汚れがひどいときは、水や薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取り、やわらかい布でから拭いてください。
- ・本体内部に水などが入らないようにしてください。
- ・汚れを落すときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
- ・腕帯は洗濯できません。
- ・腕帯をぬらさないでください。



## 12. 測定Q&A

### Q 測るたびに測定値が違うのですが…

**A** 血圧は、時々刻々と変動しています。よく知られる変動として、1日の中の変動（日内変動）や日ごとの変動（日間変動、または日差変動）があります。また、1週間の中の変動（週内変動）や、寒い冬に高く、暑い夏に低くなる季節変動も知られています。これらの変動の幅やパターンには個人差があります。家庭血圧を測って、ご自分のパターンを知り、血圧管理に役立ててください。

測定を上手に行うために次のことに気をつけましょう。

・安静時間を取りましょう。  
測定を始める前に、1~2分の安静時間を取りましょう。

安静が十分取れないといふと、血圧が安定せず、測定値がばらつきやすくなります。

・いつも決まった時に測りましょう。  
朝は起床後1時間以内、晩は就寝前など毎日決まった時に測りましょう。

・血圧は常に変化しています。  
続けて測定した場合、後の血圧の方が低い傾向があることが知られています。

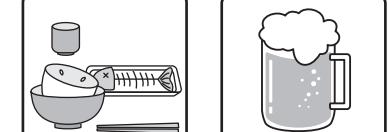
・快適な室温で測りましょう。  
寒すぎたり、暑すぎたりすると、血圧が一時的に変動します。

快適な室温のもので測定してください。

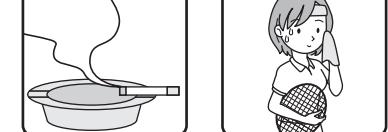


・血圧が一時的に変動する要因を知りましょう。  
次のようなときは、血圧が一時的に変動することが多いといわれています。

しばらく時間をおいてから試してみましょう。



・食事



・飲酒



・カフェイン飲料

・喫煙



・運動や身体を使う作業



・会話



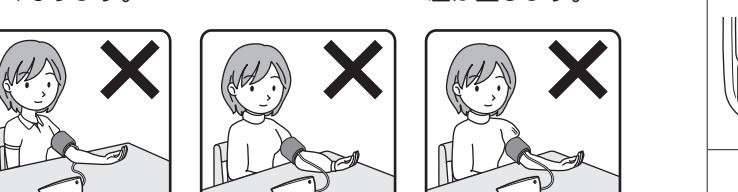
・入浴

### A 正しい姿勢や服装、腕帯の巻き方で測りましょう。

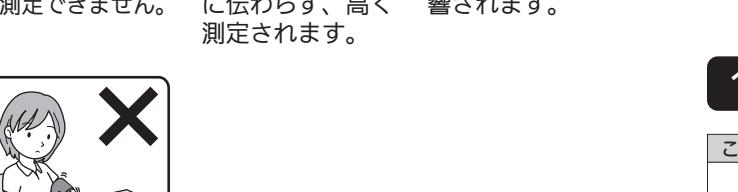
前かがみなど、無理な姿勢は血圧を上昇させます。無理のない、リラックスできる姿勢で測りましょう。



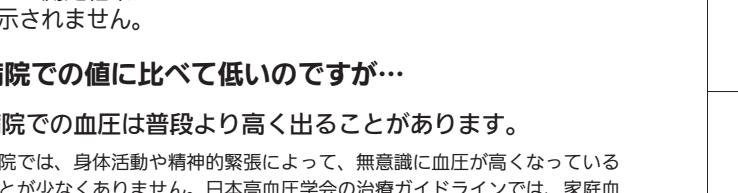
前かがみで測定すると、腹部に圧力がかかり、血圧が高くなります。



測定中に動いたり腕帯を触ると、脈の検出が乱れて誤差が生じます。



ひじや腕で腕帯チューブを押さえてしまうと、正しく測定できません。



厚手の袖の上から腕帯を巻くと、腕帯の圧迫力が血管に伝わらず、高く測定されます。

袖をまくり上げると、血管が圧迫され、腕の血圧が影響されます。

### Q 病院での値に比べて低いのですが…

**A** 病院での血圧は普段より高く出ることがあります。

病院では、身体活動や精神的緊張によって、無意識に血圧が高くなっていることが少なくありません。日本高血圧学会の治療ガイドラインでは、家庭血圧を優先して診療するよう推奨されています。血圧の記録を医師に持参して相談しましょう。

### Q 病院での値に比べて高いのですが…

**A** 安静時間を取りましょう。

測定を始める前に、1~2分の安静時間を取りましょう。安静が十分取れていないと、高めに測定されやすくなります。

**A** 家庭で測った血圧を医師に持参して相談しましょう。

病院での血圧が正常でも、家庭での値が高い場合には、治療が必要な場合があります。すでに治療を受けている方は、お葉や服薬時間の調節が必要かもしれません。血圧の記録を医師に持参して相談しましょう。

### Q 腕帯の締め付けで、痛みやしづれを感じるのですが…

**A** 一時的なもので、心配ありません。

血圧測定期は、腕帯の締め付けにより、痛みやしづれを感じることがあります。腕帯を外してしばらくすると治まります。症状が長く続く場合は、医師にご相談ください。

### Q が表示されました。不整脈でしょうか？

**A** 不規則脈波マークが表示されても、不整脈とは限りません。

マークが表示されても、不整脈とは限りませんが、頻繁に表示される場合には、医師にご相談ください。不規則脈波マークは、測定中に脈が適切に検出されないときに表示されます。

### 13. エラー表示

#### エラー表示

#### 原因

#### 対処のしかた

エアプラグをしっかりと差し込んでください。（☞「5. 腕帯を巻く」）

腕帯を正しく巻いていない。

（☞「5. 腕帯を巻く」）

測定中に腕やからだを動かしたため、適切に加圧されていない。

再度「E2」が出るときは、手動加圧で測ってください。（☞「8. 手動加圧で測る」）

測定中に腕帯を触らないでください。

手動加圧時は、目的の圧力値まで加圧したら、測定／停止スイッチを離してください。（☞「8. 手動加圧で測る」）

測定中に腕帯チューブが折れ曲がらないようにしてください。

（☞「8. 手動加圧で測る」）

測定中に腕帯チューブが折れ曲がらないようにしてください。

（☞「8. 手動加圧で測る」）

300 mmHg 以上加圧している。

（☞「8. 手動加圧で測る」）

測定中に腕帯チューブが折れ曲がらないようにしてください。

（☞「8. 手動加圧で測る」）

測定中に腕帯チューブが折れ曲がらないようにしてください。